

市数研だより

令和8年1月30日発行 NO. 6 熊本市中学校数学教育研究会

1月の定例会が1月15日（木）に白川中学校で行われました。今回も、令和8年度県数大会に向けて、各部会に分かれ授業づくりに取り組みました。

1. あいさつ

市数研会長(藤園中学校 東浩二校長先生)

先生方、明けましておめでとうございます。令和8年となり15日が過ぎ、あっという間に令和8年も進んでいくように感じます。先日、熊本城ホールではたちの記念式典が行われました。今回の式典に参加していた世代は、私が校長として初めて卒業証書を渡した生徒たちとなります。成長した若者の姿を見ると頬もしさを感じます。先生方も、教え子さんたちが色々な立場で頑張っている姿によくお会いされるのではないでしょうか。そういう子たちともまた数学の話ができるといいなと思っているところです。

県数大会がいよいよ今年になりました。事務局の森先生の方から、それぞれの部会で事前授業などが行われていることを聞きます。本番に向けてより具体的な準備が進んでいるところだと思います。今日は吉村先生に来て頂いておりますが、県数大会では熊本大学の5名の先生に助言を頂けるようになりました。本番まで1年をきったということで、各部会の先生方が非常に苦労されているところもあるようです。しかしながら、この定例会や事前研を通してみんなで考える、数学について語り合っていくことでも研究は十分進んでいくことでしょう。ぜひ、今日のような市数研の機会を一つのステップにして、数学の授業づくりをより一層進めてもらえばと思っております。令和8年がいよいよ始まりましたけれども、県数大会に向けて、どうぞよろしくお願ひ致します。



2. 令和8年度県数大会に向けた授業づくり

1月に行った定例会に引き続き、来年度の県大会に向けた授業づくり、指導案検討会に取り組みました。どの部会でもより具体的な授業の構想が進み、話し合いが盛んに行われていました。検討会の中で、簡単な模擬授業を行う部会もありました。どのようにしたら子どもがより主体的に「探究的な学習」に向かっていけるのか、子どもの視点に立ち、授業を練る先生方の姿がありました。事前研が行われていますが、定例会に参加できなかった先生方もぜひ事前研にご参加いただき、新たな視点で授業づくりへのご意見をいただけするとありがたいです。





3.まとめ

市数研副会長(白川中学校 松永憲治校長先生)

本校の子どもたちに、始業式の日に箱根駅伝の話をしました。帝京大学のチームに慶誠高校出身の知り合いが2区で走っていたのですが、その帝京大学が往路は17位でゴールしました。しかし、復路では9位に入り、シード権獲得をしました。17位スタートでシード権獲得は非常に稀であり、話題になっています。その話を子どもに話し、「諦めない」ことの大切さ、「日々諦めずに一生懸命自分ができることをやっていこう」という話をしたところです。本校だけでなく、今の子どもたちの課題としては、粘り強く考えるなどの、そういった力が足りないように感じます。そこを身に付けてもらえばと思い始業式で話をしたところです。

授業の方も一生懸命考えて頂いておりますので、あと10ヶ月後にはすごい授業ができるのだろうと思います。本校の子どもたちがそういった授業を受けることができるのを幸せだなと改めて感じたところです。授業づくりは本当にまだまだ大変だと思いますけれども、間違いなく「やって良かった」と思うはずですので、それを信じて今から10ヶ月間、しっかり頑張って下さい。

4.お知らせ

●次の定例会は、**2月12日(木)18時30分～ 藤園中学校**であります。

次回は令和8年度県数大会に向けた授業づくりを行います。事前研での成果と課題を踏まえて指導案検討を行い、次回の事前研の計画を行います。

☆ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

tonai.fuka@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願ひします。

文責 白川中学校 藤内 風香